

自 己 啓 発

平成 1 8 年 1 1 月

校長 宇野公是

1 1 月 1 日に P T A 研修で、福岡大学に出かけました。福岡ドームと博多湾が臨める 1 5 階の会議室で、入試センターの主査さんが大変印象に残る話をしてくれました。大学生は、入学時点で次の 3 つの層に区分できるということでした。

A 層（学生の約 3 割）・・・福岡大学を第 1 志望として入学してきた学生。

B 層（約 5 割）・・・第 2 志望で入学してきた学生。

C 層（約 2 割）・・・大学ならどこでも良かった学生。

入学後、A 層の学生は福岡大学で学べることを喜びとして、意欲的に学生生活を送り常に自己啓発に努めているグループとなり、大学卒業時点では日本全国どこの一流企業であれ、採用される可能性が大変高い。（注：一流企業は全国展開しているため、採用は東京に限定せず必ず全国に振り分けて採用するそうである！）B 層は、そこそこの学生生活を過ごし、就職はできるが、一流企業での採用は厳しい。C 層はアルバイトや遊び中心の生活となり、大学も欠席がちで留年する学生が多く、フリ - タ - やニ - トの道をたどる可能性が高いということでした。

また、入学時点では B 層や C 層で入ってきても、その後何かのきっかけで目標を見つけて A 層に転じ、自己啓発に努める学生もいれば、逆に A 層で入学してきたが、合格することだけを目的としてきたため入学時点で燃え尽き、大学では目標を持たずに B 層や C 層に転落していく学生もいるということでした。

さて、上記の福岡大学を日田高校に置き換えたら、皆さんはどの層にあてはまるのでしょうか。たとえ入学の動機は何であれ、たとえ現在どのような成績であれ、目標を立て、本校の学習環境をフルに活用し自己啓発に努めていれば、皆さんの前途は必ず開けてきます。また大学合格を最終目標にするのではなく、何のため大学に行くのか（例：日本のエネルギー問題を解決するため）将来を見つめ、自己啓発に努めようではありませんか。

この冊子には皆さんの先輩の苦勞の跡が刻まれています。また進路を検討する上で貴重な資料が提示されています。自己啓発のため、自己実現のため十二分に役立ててください。

（平成 1 8 年度進路資料巻頭言）

平成 1 8 年 1 1 月